

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2022 ▶ 2023

Rotary



# 鳥取北ロータリークラブ

● 会長……千金 周一 ● 副会長……入江 容子 ● 幹事……寺本 光孝  
 ● 会計……霜村 哲男 ● SAA……田中 和夫 ● 広報・プログラム委員長……水野 治郎



例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■創立: 昭和36年2月23日 ■事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

国際ロータリーのテーマ

E-mail [kitarc@infosakyu.ne.jp](mailto:kitarc@infosakyu.ne.jp) <http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/>

本日の例会

2023年5月9日(火) 四つのテスト 第2982回  
 ◆君が代・奉仕の理想 ◆会員卓話  
 ◆献立 米山ミール 米山奨学生 郭 瑠儀さん  
 ◆委員会事項 蔣 冰灿さん  
 誕生日御祝 ※例会終了後、定例理事会「例会場」

次回の例会

2023年5月16日(火) 四つのテスト 第2983回  
 ◆君が代・奉仕の理想 ◆会員卓話  
 ◆献立 米山ミール 水野治郎さん  
 ※例会終了後、次年度理事会「例会場」

## 先週の例会

2023年4月25日(火)

### 会長挨拶

先週4月18日の夜、次年度の入江会長の呼びかけでパスト会長会が開催されました。基本的には次年度の入江会長予定者を励まし、田村幹事予定者にプレッシャーをかける会になるだろうと予想していましたが、概ね予想通りでした。

私としては小林会員が会長を務めていた頃からよく耳にしていた「中長期でのビジョンとそれに対する戦略」といった話に発展すればという想いもありましたが今回はそれには至りませんでした。クラブによっては特別委員会を設けて取り組んでいる課題ですが、単年度で理事・役員が入れ替わるクラブ活動の中では手の付けにくい部分だとも感じています。私も次年度よりパスト会長となってしまうのですが、将来のビジョンに関してはパスト会長が集まってというよりもこれから会長になるだろうという人を集めて話し合うというのが良いのではないかと感じました。

話は変わりますが一昨日の日曜日に23年度・米山奨学生とのオリエンテーションが岡山で開催されカウンセラーとして松原会員と共に参加してまいりました。今回当クラブでお世話をする米山奨学生は二名でお二人共鳥取大学、中国国籍の女性の方でした。私はオリエンテーションに初めて参加したのですが、改めて感じたのはインドネシア、スリランカなど様々な国籍の奨学生がいるという事でした。そして米山奨学生の選考基準としてロータリークラブへ月に一度以上の出席義務、クラブ会員との交流、クラブ事業やイベントへの積極的な参加が義務付けられていて、それがかなわない場合は奨学生の資格の取り消しもあるという事も初めて知りました。受け入れる側としてもそれを理解した上で奨学生に接していく必要があり、各事業への参加依頼も遠慮せずに行なって頂ければと思います。

以上本日の会長挨拶とさせていただきます。

### 幹事報告

#### 1 到着文書

- 1) 友末地区ガバナー事務所より  
「トルコ・シリア大地震支援金」の報告
- 2) 石倉ガバナーエレクト事務所より  
2023-24年度ガバナー公式訪問に関するお願い
- 3) 地区米山記念奨学会事務局より  
オリエンテーションのお礼  
第3回世界米山学友による「再会in関東」のご案内

#### 2 例会変更・メーカー情報

- ・鳥取西ロータリークラブ  
4月28日(金)、5月5日(金) 休会  
\*ビジター受付なし
- ・米子東ロータリークラブ  
4月26日(水) 職場訪問  
\*ビジター受付  
定刻ANAクラウンプラザホテル
- ・米子中央ロータリークラブ  
4月27日(木) ⇒30日へ振替

### \*ビジター受付

定刻ANAクラウンプラザホテル

5月4日(木) 休会

### 3 その他連絡事項

- ・福石さんインフォメーション終了 5/9入会
- ・他クラブへ5月23日(火)合同例会の為、日程振替連絡
- ・5月2日(火) 休会
- ・5月1日(月) 事務局代休

### 委員会事項

#### ◎出席率報告

4月25日 会員47名中 出席30名  
(zoomなし) 63.82%

#### ◎入会記念日御祝

入江容子さん(17年) 乾 康彦さん(17年)  
宮崎正彦さん(15年) 福田 収さん(9年)  
松原雄平さん(9年) 森下泰年さん(6年)  
寺本光孝さん(3年) 西口善仁さん(3年)  
児嶋太一さん(1年)

#### メイクアップ

4月18日 次年度国際奉仕委員会IDM 2名  
4月20日 次年度会員増強委員会IDM 3名  
4月20日 次年度SAAIDM 4名  
4月20日 次年度青少年委員会IDM 7名  
4月20日 次年度 職業奉仕委員会IDM 3名  
4月21日 次年度広報・プログラム委員会IDM 4名

#### \*スマイル報告

(本日5,000円 累計412,800円 前回407,800円)  
千金周一さん 坂本さま、今日は卓話宜しくお  
願い致します。

入江容子さん ①坂本直様、本日の卓話楽しみに  
しています。②パスト会長会の皆様、先日はあり  
がとうございました。

寺本光孝さん 現在5月23日の5クラブ合同例会  
について各クラブの幹事と連携を取っております。  
皆様、よろしくお願いいたします。

秦野諭示さん 坂本様、今日はよろしくお願いい  
たします。

笹野真紀さん 先日は、IDMの2次会でご利用頂  
き有難うございました。

※2大御祝(本日8,000円 累計126,000円 前回118,000円)

入江容子さん 宮崎正彦さん  
森下泰年さん 寺本光孝さん } 入会記念日

#### 卓話

#### 「DXについて」

鳥取大学理事 坂本 直 氏  
コンピュータによるデジタル化  
近年、〇〇のDXという言葉がよ



く聞かれる。横文字でDXといわれると何か目新しいと感じるが、DXを担うコンピュータ(電子計算機)は、第二次世界大戦中に、暗号の解読を目的として発明された。1960年代に汎用化され、科学技術計算や企業における事務処理の迅速化や経営活動の分析評価に活用されるようになった。その後もコンピュータ技術は、半導体素子の微小化による高性能化と価格低減およびソフトウェア基盤技術の日進月歩の進展により、生産活動や経済活動などあらゆる面での人間の活動になくはならない支援ツールとして発展し続けている。そして、デジタル世界はデジタルネイチャー(\*)といわれるようになった。

1980年代の大型汎用コンピュータによる大規模データ処理や高速ネットワークによる大手企業のオンライン化、パーソナルコンピュータ(PC)によるコンピュータの大衆化。そして、90年代に入ると第二次産業革命といわれる「インターネット」の商用化が急速に発展し、デジタル化の時代が到来、家電、電気通信、自動車、製造設備、機械設計などあらゆる産業分野におけるコンピュータ技術の活用が始まった。然るに、道具側の進展のスピードが極めて速かったため、新たな技術の活用の前提となる従来の在り方の見直しが必要とされず、社会全体としても、個別組織においてもアンバランスなデジタルの適用となり、様々な課題を生み出している。

#### DXとは

デジタルは道具であり、解決策そのものではない。①現状を把握、分析し、課題を見つける ②課題の解決策を決定、実行する ③実行結果から解決策の検証・評価する。各過程でデジタルを活用することがDXである。

DXの前提は、「先ず、課題ありき」で、課題のないところに変革はない。「自身の現状から求めるべき目的・目標(あるべき姿)を想定し、その実現に向けて課題を設定する。」そこからスタートして、その変革活動の中で、その時点、時点で有効なデジタル環境(ツールやサービス)を活用すること、即ち、それぞれの企業や組織の現状に合わせ(身の丈に合った)課題解決を進めるうえでデジタル環境を活用することがDXであると考えられる。

(\*) デジタルネイチャー：環境と技術が融合する計算機時代の自然観。提唱者の落合陽一氏は「人・モノ・自然・計算機・データが接続され脱構造化された新しい自然」と定義している。落合陽一氏は、メディアアーティスト・筑波大学准教授、父はジャーナリストの落合信彦氏。  
(担当 秦野諭示)